

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	腹膜転移を有する胃癌患者における当院の治療成績と腹水の検討
	研究目的	腹膜転移を有する胃癌患者は腹水貯留を呈していることが多く、その症状の制御に難渋することもしばしば経験する。腹膜転移を有する胃癌患者に対するドセタキセル+S-1(DS療法)の腹水制御効果と当院の治療成績を検討することによって効果的な薬剤選択の一助とすることを目的とする。
	研究対象者	組織学的に腺癌と診断された、腹膜播種を伴う切除不能または再発胃癌患者のうち、2014年4月から2017年3月までに当院で初回治療としてDS療法が開始された患者。
	研究期間	西暦 2019 年 9 月 19 日 ~ 西暦 2019 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	金田 義弘
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器内科消化管
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	共同研究ではない